

伝言板

No.27(H29.4)



NPO法人 北海道みなとの文化振興機構

もくじ

会長就任挨拶	1	「着ぐるみ貸付事業」	7
「第14回理事会・通常総会」	2	「みなとまち活性化イベントの助成事業」の募集	8
第13回「みなと座談会」	4	助成事業応募様式	9
「みなとパネル展」	6	平成29年度 役員・事務局・支部体制	10
北海道開発局防災エキスパート	7	会員動向	10

会長就任挨拶



NPO 法人北海道みなとの文化振興機構

会長 栗林 定正

平成29年2月22日に開催されました本法人理事会におきまして、前会長藤田博章の後を継ぎ、会長に就任いたしました。

現在、釧路港湾振興会会長、北海道港湾振興団体連合会会長を務めさせていただいており、このようなご縁で会長職を引き受けさせていただきました。

当機構は、平成15年の事業開始から13年が経過し、現在「みなとへの理解と利用促進に係る広報活動」、「港湾・空港・漁港の防災業務および災害復旧に係る支援」、「みなとまちづくりの推進を図るみなと座談会」を開催するなど、幅広く事業を展開していると聞いております。私も微力ながらみなとの文化振興がさらに深まることを目指し、皆様のお力添えを戴きながら事業が着実に前進できるよう取り組んでまいりたいと考えております。

私の地元、釧路港においても釧路港利用促進協議会 釧路クルーズ振興部会という組織が設立されクルーズ船の誘致が活発に行われております。

お陰様で、釧路港における平成29年のクルーズ船寄港は、昨年より1隻多い15隻となる計画で、クルーズ振興が海事振興にとどまらず地域振興、観光振興に寄与することから市民とともに期待しているところです。

最後に、北海道みなとの文化振興機構の発展のため、当機構だからできることを念頭に置き、会員一丸となって事業に取り組んでまいる所存でありますので、前任者同様引き続きご指導ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。就任のご挨拶といたします。

「第14回理事会・通常総会」

第14回理事会・通常総会は、平成29年2月22日(水)セントラル札幌北ビル6階会議室で開催しました。理事会は定数10名の内、出席が5名(書面表決者4名)、通常総会の出席者は、個人会員164名の内57名(委任状提出88名)、団体会員63団体の内27団体(委任状提出31団体)、また、賛助会員11団体の内4団体にも出席していただきました。

通常総会に先立ち、藤田博章会長が所用のため欠席となりましたので、中村信之理事長から「当法人は今年4月で設立14周年を迎えることとなります。会員各位には改めてこれまでの取り組みに感謝申し上げる次第です。

北海道には、現在港湾35港、漁港282港があり、それぞれ地域の産業拠点、生活拠点、交流拠点として大きな役割をはたしております。各港は自然環境が異なることはもとより歴史面、文化面において個性的でありそれぞれ特徴ある魅力を有しています。

当機構は、このようなみなとの魅力を最大限に生かし、みなとへの愛着を深め、みなととまちの連携によるみなとまちづくりを目指し、いくつかの事業に取り組んでまいりました。具体的には、みなとの理解と利用促進に係る広報事業、みなとまちづくり支援事業、港湾・空港・漁港の防災業務および災害復旧支援事業などありますが、それぞれを会員各

位のボランティアにより実施してまいりました。

微力ではありますが、各みなとの振興に些かでもお役に立つことができますことは大きな喜びです。会員の皆様の一層のご理解とご支援お願い申し上げます」と挨拶がありました。

ご来賓としてご出席していただきました北海道開発局港湾空港部長笹島隆彦様から、「みなとの役割、活動などについて地域住民の理解を広げるため、みなと見学会、パネル展、工事見学会などピーアール事業を実施していますが、当機構のサポート業務、着ぐるみの貸付、記念グッズの配布の協力により多くの成果を上げていると考えています。また、北海道開発局防災エキスパート制度(港湾・空港・漁港)について、幸いにも制度発足以来まだ発動していませんが、国土交通省および北海道開発局は防災、減災に力を入れているところでもあり、いつ発生するかわからない災害時の協力団体として、エキスパート制度の充実が重要と考えます。また、当機構がより発展し更なる活躍を期待します」と挨拶をいただきました。

議案の審議内容について承認されました。

第1号議案(平成28年度事業報告)

- 1 定款の事業名 港への理解と利用促進に係る広報活動及び支援
 - (1)みなとサポート業務
みなと見学会 4港(7日間)、みなとパネル展 2港(2日間)
 - (2)みなとパネル展
平成29年1月21日(土)「ザ・シンポジウム みなと in 函館」の開催に協賛して函館アリーナで開催。
 - (3)広報誌「伝言板」の発刊
25号を平成28年4月、26号を11月に発刊
 - (4)着ぐるみ(「ぼーとん」くん・「べいくりん」ちゃん)貸付事業(有償)



理事会



理事長挨拶



来賓挨拶

イベントなどで10件の利用

(5)記念グッズの配布(無償)

ノート、ボールペン&マーカー、着ぐるみシールを18カ所に配布

2 定款の事業名 港湾・空港・漁港の防災業務及び災害復旧に係る活動・支援

(1)防災エキスパート支援

平成28年10月4日(火)北海道開発局防災エキスパート(港湾・空港・漁港)研修(23名参加)

平成28年9月15日(木)稚内開発建設部と北地区防災エキスパートの意見交換会(9名参加)

平成28年12月12日(月)網走開発建設部と東地区防災エキスパートの意見交換会(7名)

3 定款の事業名 まちづくりの推進を図る活動等に関する情報収集

(1)みなと座談会

平成28年10月17日(月)稚内市で開催(北海道女性ネットワーク会員14名、行政関係者9名、当機構7名参加)

(2)ネットワーク強化

平成28年6月9日(木)当機構の支部長会議(16名参加)

(3)情報収集

4 定款の事業名 その他、目的を達成するために必要な事業

(1)助成活動

平成28年度は一般の部10事業、特定の部5事業に助成

第2号議案(平成28年度収支決算報告並びに監査報告)

第3号議案(平成29年度事業計画)

1 定款の事業名 港への理解と利用促進に係る広報活動及び支援

(1)みなとサポート業務

(2)みなとパネル展

(3)広報誌「伝言板」の発刊

(4)着ぐるみ貸付事業(有償)

(5)記念グッズの配布(無償)

2 定款の事業名 港湾・空港・漁港の防災業務及び災害復旧に係る活動・支援

(1)防災エキスパート支援

3 定款の事業名 まちづくりの推進を図る活動等に関する情報収集

(1)みなと座談会

(2)ネットワークの強化

(3)情報収集

4 定款の事業名 その他、目的を達成するために必要な事業

(1)助成活動

第4号議案(平成29年度収支予算計画書)

第5号議案(理事及び監事の選任)

任期満了に伴い下記の方々が承認されました。

・理事(会長)	藤田博章(退任)
・理事	水野雄三(退任)
・理事(会長)	栗林定正(新任)
・理事(理事長)	中村信之(再任)
・理事	岩倉博文(再任)
・理事	宮崎英樹(再任)
・理事	高橋喜一(再任)
・理事	上原泰正(新任)
・理事	百瀬 治(新任)
・理事	小泉信男(再任)
・理事	川合紀章(新任)
・理事	大西育子(再任)
・理事	片石温美(再任)
・理事	福岡康宣(再任)
・監事	上原泰正(退任)
・監事	中村弘之(退任)
・監事	吉本靖俊(新任)
・監事	柳田秀吉(新任)



総会

特別報告

通常総会終了後、当機構中村理事長から「みなとサポーターの活動状況について」と題して報告がありました。パワーポイントを使用して「みなとサポーター制度について」、平成27年度、28年度の「みなと見学会、みなとパネル展について」紹介がありました。



特別報告

第13回「みなと座談会」

NPO 法人みなとの文化振興機構は、みなとまちの地域づくりについて考える「みなと座談会」を、「北海道みなとまちづくり女性ネットワーク」と共催で、みなとを核としたまちづくりを女性の視点から考え、実際の活動を通じた意見交換の場として、平成16年度の第1回函館開催以降、釧路、室蘭、稚内、広尾、留萌、苫小牧、函館、室蘭、紋別、釧路、札幌で開催してきました。第13回目となる今回は平成28年10月17日(月)、稚内市稚内グランドホテルで開催しました。

座談会のテーマ

昨年に引き続き「わくわくするみなとまちづくり」をテーマに、全道各地で活躍されている女性ネットワーク代表から活動報告および、行政機関からの出席者を交えて「地域のみなとまちづくりの課題」などについて意見を交換しました。

座談会の参加者

司会

NPO 法人北海道みなとの文化振興機構理事長
中村 信之

北海道みなとまちづくり女性ネットワーク

女性みなと街づくり苫小牧代表 大西 育子

みなとまちづくり女性ネットワーク室蘭代表
立野 了子

みなとまちづくり女性ネットワーク函館代表
折谷久美子

みなとまちづくり女性ネットワーク・
オホーツク代表 竹内 珠巳

留萌みなとまちづくり女性ネットワーク
事務局長 堀松 浩子

稚内のみなとを考える女性ネットワーク代表
岩本 明子

稚内のみなとを考える女性ネットワーク会員
石塚 智子

稚内のみなとを考える女性ネットワーク会員
柳 潤子

稚内のみなとを考える女性ネットワーク会員
川口ひろみ

稚内のみなとを考える女性ネットワーク会員
住吉ミチ子

稚内のみなとを考える女性ネットワーク会員
岡本 茂子

稚内のみなとを考える女性ネットワーク会員
嶋 スミ子

稚内のみなとを考える女性ネットワーク会員
北川栄久子

稚内のみなとを考える女性ネットワーク会員
工藤 和子

行政機関

稚内市建設産業部港湾物流課長 北浜 宣治

稚内市建設産業部港湾物流主査 阿部 真司

稚内市建設産業部港湾物流主事 山田 弥恵

北海道開発局港湾空港部港湾計画課

港湾物流専門官 早川 篤

北海道開発局港湾空港部港湾計画課

島谷奈緒美

稚内開発建設部技術管理官 秋浜 政弘

稚内開発建設部築港課長 伊藤 徹也

稚内開発建設部築港課上席築港専門官

千葉 俊夫

稚内開発建設部稚内港湾事務所長 杉山 盛行
事務局

NPO 法人北海道みなとの文化振興機構

福岡 康宣外5名

座談会の概要

主催者を代表して中村信之理事長から、みなと座談会の趣旨と開催に協力していただいた地元の方々へお礼の挨拶がありました。行政機関参加者を代表して秋浜政弘技術管理官からは、宗谷管内の現状、稚内港の特徴などの説明と、今座談会の意見を参考に今後の行政に反映して行きたいとのお返事をいただきました。中村理事長の司会で活動報告などの本題に入りました。

始めに女性みなとづくり苫小牧代表大西さんから、9件の活動の中から「第8回(玉野)、9回(蒲郡)みなとオアシス Sea グルメ全国大会」の参加報告がありました。この中で地域や道内のイベントに

とどまらず、外向きの活動も必要なことや、本州の夏は暑さ対策が大切との体験談がありました。

みなとまちづくり女性ネットワーク室蘭代表立野さんからは、5件の活動の中から「海の日コンサート」の報告がありました。通常は港付近の親水公園などの野外で実施していましたが、今回は雨天のため道の駅「みたら」で「海」「夏は来ぬ」など海にちなんだ11曲を参加者と共に楽しく合唱したとのことでした。

みなとまちづくり女性ネットワーク函館代表折谷さんからは、8件の活動の中から客船飛鳥II「いかめしの振る舞い・パネル展示・アンケート」について報告がありました。いかめしの振る舞いは以前から続けていて好評なのですが、今回は女性ネットワークメンバーの参集が少なく、イカ500パイの下処理、当日の振る舞い作業は困難かと思いましたが、行政関係者の協力を得て盛況の内に無事終了したとのことでした。

みなとまちづくり女性ネットワーク・オホーツク代表竹内さんからは、6件の活動の中から「シルバー時代を対象としたみなと見学会」の報告がありました。子供達を対象にした見学会は過去に実施してきましたが、今回は敬老日に60歳以上の方を対象に企画したところ、約110人参加してくれました。設問の多いアンケートにも協力してもらい、9割の方が提出してくれ「海・港に関心が多いことがわかりました」また、今年も蒲郡のSea級グルメ全国大会に参加しましたが、「平成30年に紋別市の開催が決定しました」との発表がありました。

留萌みなとまちづくり女性ネットワーク事務局長堀松さんからは、「留萌港みなと見学会」の報告がありました。女性ネットワークの役割は船内説明です

が、子供アンケートの中に「以前に来た(乗船した)時より、詳しく説明してくれた」との記述があり、情報の充実、話術の向上など努力が実り今後の見学会の励みになりました。

稚内のみなとを考える女性ネットワーク代表岩本さんからは、8件の活動の中から、「第14回WAKKANAIみなとコンサート前夜祭」について報告がありました。コンサート会場の北防波堤ドームの竣工80周年を記念して、初めて前夜祭を計画しました。メインは宗谷牛の野外バーベキューです。ステージではクイズ、フラダンス、バンド、よさこいチームが盛り上げてくれました。参加者数、物販売上など不安だらけのスタートでしたが、チケットもほぼ完売し、来年も是非開催しますと力強い宣言がありました。また、前夜祭の助っ人として、みなとオアシス紋別も参加してくれました。翌日開催しましたみなとコンサートも大盛況でした。

今回の座談会に出席していただいた、稚内女性ネットワークメンバーの意見として、経験不足の中での前夜祭開催には不安が一杯でした。

稚内の夏期間は短く、学校関係などの行事が集中するため、参加者が分断される恐れがあり開催日の調整の必要性を感じました。

各代表の発表を聞く内に、今後Sea級グルメ大会に参加したくなってきました。

仕事を持ちながらの参加は負担が多いが、イベントが成功すると心地よい疲れとなって生活に活力が出てきますなど、積極的活動が伝わってきました。

後半はSea級グルメとクルーズ船のおもてなしについて話題を変えました。Sea級については全国大会参加経験の多い苫小牧と紋別から、参加意欲と資金集め、スタッフの確保が重要。また、行政側か



理事長挨拶



技術管理官挨拶

ら一番難しい資金集めには、国交省の助成のみならず、他省庁の助成の利用も活用すべきとアドバイスがありました。クルーズ船について、今後も北海道に寄港することが多くなると予想されますので、おもてなしは地域イベントの一つとして位置づけ、活

動することが大事です。

最後に、「地域活動は継続することが重要で、その結果大きな輪に広がる」との意見集約で座談会を終了しました。



座談会



座談会

「みなとパネル展」

NPO法人北海道みなとの文化振興機構は、一般市民に「みなとの役割、暮らしとの関わり合い」を広く理解して頂くため、毎年「ザ・シンポジウムみなと（ザ・シンポジウムみなと実行委員会）」の開催に協賛し、実行委員会の支援を得て、「みなとパネル展」を企画、開催しています。

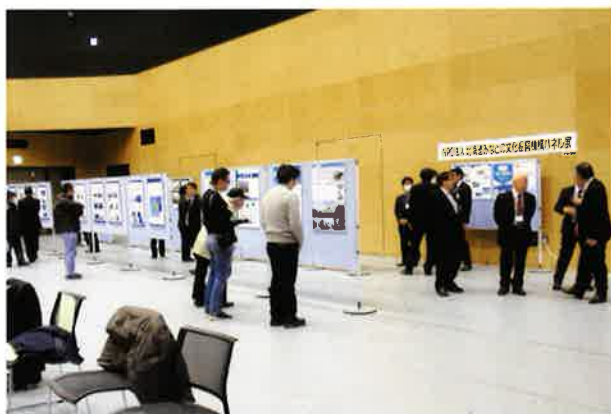
平成28年度の「ザ・シンポジウムみなと in 函館」は「クルーズ振興」をテーマに平成29年1月21日（土）午後から函館アリーナで開催されました。

パネル展は会場の都合によりシンポジウム会場内での展示となりました。開演前、休憩時間、閉会后

と多くのシンポジウム参加者が、展示パネルに足を止めて熱心に見て頂きました。

パネルは、当機構の「活動状況の紹介と設立までの経緯」の紹介が2枚、「北海道の港湾いま、むかし」の紹介が12枚、「函館港の歴史、利用状況等」の紹介が22枚、「函館港の今昔物語」の紹介が34枚の全70枚を展示しました。

今回のパネル展の開催にあたり、北海道開発局港湾空港部、函館開発建設部函館港湾事務所、函館ペリーボート競漕実行委員会様のご理解とご協力、厚くお礼申し上げます。



北海道開発局防災エキスパート (港湾・空港・漁港)

東地区（釧路・帯広・網走）意見交換会

平成 28 年 12 月 12 日(月)網走開発建設部港湾関係職員と東地区防災エキスパートの意見交換会を網走市で開催しました。

開発建設部職員 21 名、エキスパートリーダーおよび防災エキスパート東地区担当者 7 名が参加しました。

網走開発建設部畔津次長（港湾農水担当）からご挨拶をいただき、防災対策官から、管内の防災対応における自治体支援講習会、講演会、防災訓練などの実施状況、8月の連続台風による被害の概要と防災体制・対応について説明がありました。また、鳥

インフルエンザウイルスを持った野鳥（オオハクチョウ）が発見されたことにふれ、工事関係者についても警戒するようにと協力依頼がありました。エキスパートリーダーからは、制度の概要、活動状況について説明しました。

意見交換会の内容は、これまで各開建で多くあった意見の外、平成 28 年度の試みとして、大規模災害に対して的確な体制を整えることを目的に、冬期風浪後に直轄職員が実施する施設点検に防災エキスパートも同行して、施設点検をする訓練の説明がありました。平成 28 年度は東地区（釧路港）で冬期風浪後に災害を想定した施設点検に防災エキスパートが参加しました。

「着ぐるみ貸付事業」 (みなとのマスコット「ぼーとん」くん、「べいくりん」ちゃん)

北海道のみなのキャラクター「ぼーとん」くん、「べいくりん」ちゃんの着ぐるみは、みなとが担う役割を多くの皆様にご理解いただくとともに、海やみなとに集う皆様が楽しく過ごしていただくお手伝いキャラクターとして製作しました。海の上を自由に謳歌するかもめを題材に「小さな赤ちゃんかもめ」をイメージした可愛い着ぐるみです。

平成 11 年に 1 号を製作し、好評を得たことから 2 号、3 号と製作、現在 4 組を有し皆様にご利用いただいております。

「ぼーとん」くん、「べいくりん」ちゃんは、NPO 法人北海道みなとの文化振興機構が商標登録を行っております。なお、着ぐるみは平成 19 年度から有料とさせて頂いております。



商標登録証

「みなとまち活性化イベントの助成事業」の募集

NPO 法人「北海道みなとの文化振興機構」では、当機構の目的の一つである「港の効果的、効率的利用の促進や港を核としたまちづくりに係る広報事業を支援する」助成事業の募集を行います。平成 29 年度の助成事業応募要領は下記のとおりです。

助成事業募集要領

(1)応募要件

道内で、みなとまちの活性化をめざし企画・実施されるイベント等において、平成 29 年度に実施予定の本助成を希望する事業とする。

(2)募集期間および応募方法

募集期間は平成 29 年 4 月 3 日(月)から 5 月 8 日(月)までとし、助成を希望する団体は必要事項を記入の上、別途応募様式を提出する。

(3)助成金額

1 件当たり助成金額は 15 万円を限度とし、みなとの活性化の効果の大きいと考えられる数件を選定する。

(4)評価審査委員会の設置

応募された助成希望の事業について、審査を行う機関として設置する。

評価審査委員会は当 NPO 法人理事長の指名により構成する。

評価審査委員会の事務は当 NPO 法人事務局が行う。

評価審査委員会は平成 29 年 5 月中旬に開催し、助成を希望する事業について審査し、採択する。

審査結果については、5 月下旬に郵送で通知する。また、当 NPO 法人のホームページ上で公表する。

(5)助成金の支払い

助成金については、助成を受ける団体等に対し、イベント等の開催の 2 週間前までに支払う。

(6)助成を受ける団体の義務

活動を実施するにあたって、「NPO 法人北海道みなとの文化振興機構助成」をうけている旨を明示すること。

(7)報告

実施結果については、実施後速やかに別途報告様式により提出する。



応募様式 (A-4 版)

年 月 日

NPO 法人北海道みなとの文化振興機構 御中

団体名
代表者名

平成 29 年度 NPO 法人北海道みなとの文化振興機構助成事業に応募します。

1 事業名	
2 事業の目的	
3 事業の内容と課題等	
4 共催団体および支援団体	
5 開催場所	
6 開催日時	
7 総予算額(見込み)、本助成金の要望金額および内容	
8 スタッフ人数	
9 参加者見込み人数	
10 過去の開催実績	

報告様式 (A-4 版)

年 月 日

NPO 法人北海道みなとの文化振興機構 御中

団体名
代表者名

平成 29 年度 NPO 法人北海道みなとの文化振興機構助成事業により、下記のとおり事業を実施しましたので報告します。

1 事業名	
2 事業の内容	
3 共催団体および支援団体等	
4 開催場所	
5 開催日時	
6 スタッフ人数	
7 参加者人数	
8 総支出額、本助成金の使用内容	

※実施状況のわかる写真を数枚添付



■平成 29 年度 役員・事務局・支部体制

平成29年度「特定非営利法人北海道みなとの文化振興機構」役員・事務局・支部体制についてお知らせします。

役員				事務局				支 部	
役職	氏 名	役職	氏 名	役職	氏 名	役職	氏 名	役職	氏 名
会 長	栗林 定正	理 事	小泉 信男	事務局長	福岡 康宣	事務局次長	岸 哲也	札幌支部長	石島 隆司
理事長	中村 信之	理 事	川合 紀章	事務局次長	毛利 照男	事務局次長	中内 勲	札幌支部次長	澤合 英治
理 事	岩倉 博文	理 事	大西 育子	事務局次長	渡辺 修司	事務局次長	秋葉 洋一	函館支部長	高森 孝紀
理 事	宮崎 英樹	理 事	片石 温美	事務局次長	東 志郎	事務局次長	高田 稔年	函館支部次長	阿部 俊六
理 事	高橋 喜一	理 事	福岡 康宣	事務局次長	市来 隆	事務局次長	斉藤 賢悦	室蘭支部長	中野 克彦
理 事	上原 泰正	監 事	吉本 靖俊	事務局次長	渡部 優	事務局次長	松崎 重貫	苫小牧支部長	小山 良明
理 事	百瀬 治	監 事	柳田 秀吉	事務局次長	三原 一憲			釧路支部長	平山 裕義

■会員動向

このたび折谷久美子会員が平成 28 年度北海道男女平等参画チャレンジ賞を受賞され、1月23日(月)に道庁本庁舎で高橋はるみ知事から表彰状・副賞の贈呈、知事挨拶、懇談、記念写真撮影などが行われました。

この賞は、それぞれの個性と能力を生かして、職場、地域、家庭その他の社会のあらゆる分野でチャレンジして、活躍されている方々を顕彰し、道民の皆様にチャレンジの身近なモデルとして紹介することにより、男女平等参画社会実現への機運を高めることを目的に創設され今年度は、輝く女性のチャレンジ賞として2名が受賞されました。

折谷久美子さん（NPO 法人スプリングボードユニティ21 理事長）は、女性の積極的な参画を得ながら、地域住民の幅広い参画による春から秋の花の植

栽や冬のキャンドルイベントまた、駅や空港でのボランティア活動など、函館のまちづくりと観光客のおもてなしを長年続けてこられており、地域の活力をもたらすこれらの精力的な活動に対して、このたび栄誉ある賞を受けられました。今回の受賞改めてお祝い申し上げます。



贈呈式

事務局連絡方法

当機構事務局への連絡は、下記のいずれかをお願いします。

Tel : 011-727-3710 Fax : 011-727-3710 E-mail : bunka-npo@kanchi.or.jp

なお、事務局は、常駐体制でないことから、ご返事を差し上げるまで一週間程お時間をいただくこともございますので、何卒ご了承をお願いします。

また、当機構の活動状況は、ホームページでご覧になることができます。

<http://www.minatobunka-npo.info/>

特定非営利活動法人 北海道みなとの文化振興機構

〒001-0011 札幌市北区北 11 条西 2 丁目 2 番 17 号
セントラル札幌北ビル 5F